

しいーぶん

● 素敵なパートナーになるために ●

特集

第2号

平成13(2001)年9月

地域におけるジェンダー



地域におけるジェンダー

地域での日々の生活で、なにげなく男女を区別したり、女性と男性の役割を決めてはいないでしょうか。

ジェンダー(女らしさ、男らしさといった社会的・文化的につくられた合理的根拠のない性別)によって活動の場が分けられると女性にとっても、男性にとっても暮らしやすい社会は実現できません。

以下の質問で、ふだん気がつきにくい地域のジェンダーを発見してみましょう。

Q. 1

平日の昼間です。地域にいるのは？

- A. 見渡せば女性ばかりで、男性が見当たらない
- B. 男性ばかりで女性はほとんど目につかない
- C. 女性と男性が半々くらいいる

Q. 2

自分の家の前でなく、公園や地域の掃除をする日です。さて、出てくるのは？

- A. 女性ばかり
- B. 男性ばかり
- C. 女性と男性が同じくらい

Q. 3

町や地域の名前をつけたスポーツチーム。中でも活躍しているのは？

- A. 少年チームや男性がメンバーのものばかり目立つ
- B. 少女チームや女性がメンバーのものばかり目立つ
- C. 女性も男性もいろいろなチームが活躍している

Q. 4

地域でちょっとしたトラブルが発生。話し合いで決めようと思いますが...

- A. 「夫に聞かないとわからない」という女性が多い
- B. 「地域のことは妻にまかせているからよろしく」という男性が多い
- C. 女性も男性も自分の意見を出し合って決める

Q. 5

近所の共働きの家庭で、同居している(夫の)親が介護を必要とする状態になりました。行政の支援などを受けながら在宅介護をしているようです。この家族について、地域の人々はどんな反応をするでしょう。

- A. 「奥さんが仕事をやめて介護すればいいのに」と隣近所がうわさする
- B. 「奥さんをやめさせて介護させないとは情けない男だ」と隣近所がうわさする
- C. 仕事をやめなくてもいいように周囲の人たちでその家族を応援する

AとBは0点、Cは1点で計算してください。

点

あなたの地域はどのタイプ？

4～5点

ジェンダーフリー地域

あなたの地域はうらやましいモデル地域です。ジェンダーフリーなまちをもっと増やすために、その良さを他の地域に広めましょう。

2～3点

うっかりジェンダー地域

こういうタイプの地域は多いかも。でも、地域にひそむジェンダーに気づいたからにはどうしたら変えられるかを考えてみましょう。

0～1点

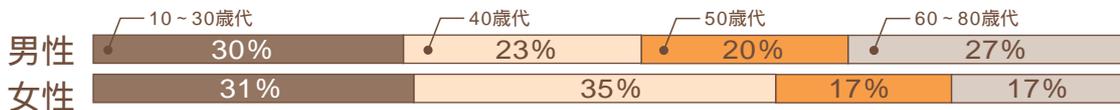
どっきりジェンダー地域

女らしさ、男らしさに強くこだわって暮らしている地域のように。女性が男性かで生活を区別しすぎて、きゅうくつさを感じていませんか。

地域住民100人に聞きました

右のページの「地域のジェンダーチェック」を地域住民100人(男性30人・女性70人)に行いました。集計の結果は以下のとおりです。

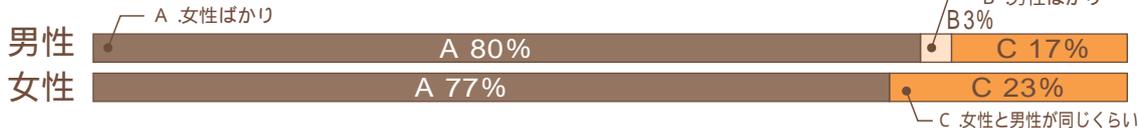
[年代]



Q. 1 平日の昼間です。地域にいるのは？



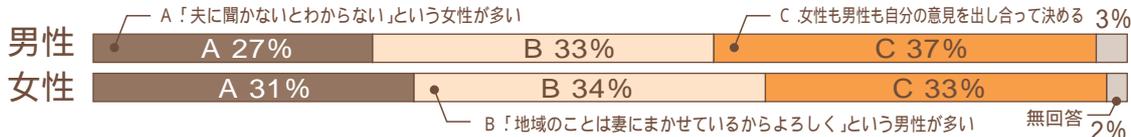
Q. 2 自分の家の前でなく、公園や地域の掃除をする日です。さて、出てくるのは？



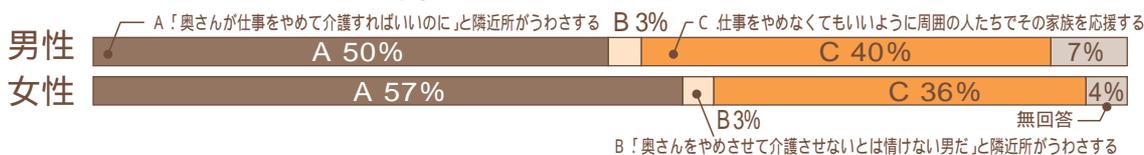
Q. 3 町や地域の名前をつけたスポーツチーム。中でも活躍しているのは？



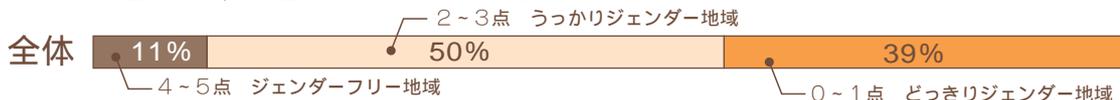
Q. 4 地域でちょっとしたトラブルが発生。話し合いで決めようと思いますが...



Q. 5 近所の共働きの家庭で、同居している(夫の)親が介護を必要とする状態になりました。行政の支援などを受けながら在宅介護をしているようです。この家族について、地域の人々はどんな反応をするでしょう。



【集計】 AとBを0点、Cを1点と計算すると



地域の男女平等についてこんな意見が寄せられました

- 昔と比較すれば、人々の考え方が向上しているように思いますが、まだまだ男性は「外」で、女性は「家」という意識が残っている気がします。(40代女性)
- 以前とは違い、会合で女性の発言が多くなりました。(80代男性)
- 男女平等は望ましいけど難しい。(30代女性)
- 月に何度か行われる公園の掃除や資源回収では女性が進んで行っているように思います。休日に行う時もあるので男性に参加してほしいと思います。男女が積極的に協力して行うことが理想的なことだと考えています。(10代女性)
- 男性は仕事が忙しいという理由で老人や専業主婦にまかせている部分が多い。(40代男性)

ジェンダーフリーな社会を築くために

みんなで地域づくりに参画しよう!

地域づくりは人づくり

ボランティア活動、PTA、公民館活動など地域で女性たちはいきいきと活動しています。子どもを育てるうえで、また高齢社会を支えていくために地域はとて大切な役割を果たします。

家の中に限らず地域でも掃除や世話をするのは女性の仕事と決められていないでしょうか。心豊かな生活を送れるよう男性も女性もすすんで地域の活動に参画して交流を深めましょう。



ひとくちメモ

『参画』とは、単に参加するだけでなく、積極的・主体的に参加することです。

地域をもっと暮らしやすく

社会は女性と男性が半分ずつで成り立っています。しかし、政策や方針決定の場にいる女性はほんのひと握り。地域活動の場でも参加者のほとんどは女性なのに代表者は男性というケースも少なくありません。

男女を問わず実質的に活動できる人が会長などの役員に就任し、活動して地域をもっと暮らしやすくしましょう。

編集後記

『いーぶん』第2号をお届けします。発行にあたりご協力いただいた皆様方に厚くお礼申し上げます。

近そうで、遠いのが男女平等への道。しかし、21世紀は男女共同参画の時代ともいわれています。心の中で、男女がこうなったらいいのに...と思うことがあるはず。まず自分ができることから思いきって行動に移すことができれば新たな女性の可能性が見えてくると思います。

編集協力者

岡西よし子、滝 琴路、山内登世江
横井秀子、吉田和江

ご意見、ご感想
お待ちしております!

